

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	1273600260
法人名	医療法人社団千葉医心会
事業所名	グループホームスピリット
訪問調査日	平成 20年 5月 14日
評価確定日	平成 20年 6月 15日
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2008年6月18日

【評価実施概要】

事業所番号	1273600260
法人名	医療法人社団千葉医心会
事業所名	グループホームスピリット
所在地 (電話番号)	〒270-1327千葉県印西市大森2228-1 (電話) 0476-40-2410

評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	〒113-0021東京都文京区本駒込3-15-10		
訪問調査日	平成20年5月14日	評価確定日	6月15日

【情報提供票より】(20年5月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	15 人	常勤 2人, 非常勤 12人, 常勤換算	4.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300000)	有りの場合 償却の有無	有(期間:3年)	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日あたり 1000 円			

(4) 利用者の概要(5月8日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	4 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.3 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	千葉ニュータウンクリニック
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の多い自然に恵まれた環境の中にあり、玄関周りには色とりどりの花があり、明るい雰囲気を感じます。隣接して自家菜園もあり、新鮮な食材の一部として使われています。近くに同じ法人経営の老人保健施設とデイサービスがあり、利用者に安心感と楽しみの両方を提供できる長所があります。共有スペースの他に畳で食事や歓談をする場所もあり、利用者にとって居心地の良い空間となっています。個室は明るく清潔感があり、スペースも広く中から鍵がかけられ、プライバシーに配慮しています。また、なるべく薬を減らし、毎日の筋力アップ体操やストレッチを取り入れ、今年に入ってから転倒者が一人もいないという成果を挙げています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	①前回では、地域との更なる交流が挙げられていましたが、運営方針として掲示に「地域に溶け込んだ」を追加し、改善が見られました。②災害時の備蓄も備えられ、万が一の時に対応できる体制作りがなされています。③5施設合同での避難訓練は行われていますが、更に地域住民にも声かけして共に助け合う取り組みが望まれます。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者が主に自己評価に取り組みました。修正版を送ってこられたり、熱心に取り組み自己評価に前向きな姿勢が窺われました。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年の2月から、4ヶ月に一回、行われています。3月に開かれた運営推進会議では、市役所の方には「後期高齢者医療」の変更点を説明していただいています。また「どんな外だし、又こちらへも地域の方に来て事業所の理解を深めて貰う」など、有意義な取り組みがなされています。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関に家族に対して「ご意見箱」を設置していますが、ほとんど入ってこない状況です。面会の折、家族とのコミュニケーションを心がけ、特に意見箱に入れる必要性がないからです。家族には、月一度のホーム便りを郵送しています。何かあれば電話で連絡するなどの配慮があり、家族からは感謝の声が多く寄せられています。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の学校や幼稚園などの交流に取り組んでいます。グループホームになじみの人や地域の方が訪ねて来るまでには至っていない状況です。同法人経営の老人保健施設やデイサービスがあるので、今後の地域との連携は取り組みやすいと思われます。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は「地域にとけ込み家庭的な雰囲気の中で気持ちよく自立した生活を目指す」とし、日々ミーティングの折に唱和し、職員にも浸透を図っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は着任してこの1年間、理念実現のために、地域密着型サービスとしてのグループホームの運営のあり方について、グループホームとは何か、どう運営すべきか、日々のOJTの機会に、職員に話かけ学習してきました。その結果、個人目標の中に理念実現への課題が見えてきたと、管理者は評価しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接している同法人経営の老人保健施設と連携しており、地域ボランティアのカラオケや踊りなどアクティビティプログラムを催し、地域と交流しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を通じて、グループホームが地域福祉を推進する意義が職員にも浸透し、地域の町内会、学校、幼稚園などとの関係づくりに取り組んでいます。	○	自治会・老人会との同世代交流や、学校・幼稚園・保育所との世代を超えた交流を促進するため、隣接する老人保健施設・地域グループホーム等福祉事業者は合同で、ボランティア・市民やその他関係機関と連携し、地域福祉推進のための取り組みが期待されます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で状況報告をし、メンバーの意見を重要視し、サービス改善に活かすよう、この1年余の間で、次第に会議が定着しつつあり、今後メンバーのより充実を図りたいとしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から月例で派遣されてくる介護支援専門員は、利用者や職員とも懇意で、第三者が利用者個々に面談し、ホーム内で職員には話せないなどの聞き取り内容が、相談・観察記録集として過去の分も含め膨大に整備されています。それを職員は回覧して読み込んでおり、サービスに活かすべき留意点が共有され、学びになっています。また、市の講習会などにも積極的に参加しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回発行の「スピリット便り」や電話で、ホームでの生活状況や利用者の身体の状態など、こまめに連絡しています。利用者調査での家族のホームに対する満足度は高率(87%)です。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	この1年間、当初転倒事故が多くありました。転倒原因の一つは「薬による副作用の可能性がある」との看護師でもある新管理者の指摘で、職員一丸となり、服薬をしないケアに徹した結果、5カ月間転倒事故は全く無くなりました。今回の家族アンケートでも、ホームのサービス努力に対する家族の満足感と信頼感が窺えます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員同士で利用者情報を十分に共有でき、日々学びの機会があり、みんなで同等のサービスを提供できるよう訓練しています。このことで、仕事に対するやりがいが大きく定着率も高いです。いずれも、1ユニットだからできる利点であり、対人ケアサービスの理想的な原型を見る思いです。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々の勉強会のテーマは、グループホーム・認知症とは何かの基礎的知識の学びに始まり、「こんなとき、あなたならどうしますか」を討議し合います。OJTで学ぶ多くの事例検討集を確認することができましたが、こういった継続的な訓練で職員のやる気・働きがいを醸成され、定着率も向上しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	医療法人を母体として老人保健施設を中核とした各種の高齢者介護サービス事業所が地域に配置されています。各事業所長等経営層を集めた全体会議での討議や報告は経営層のOJTの場になっています。5カ所のグループホームは、ネットワークづくりや勉強会で交流が活性化しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前見学を利用者と家族にいただき、一緒に事業所見学をしながら、本人意向の把握に努めています。入所して慣れるまで、職員の声かけを多くし、本人の気がすすめば、食事の支度を共にし、馴染めるように配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	自家菜園があり、畑仕事が好きな利用者が職員と一緒に耕したり、収穫をしています。多く収穫できた時には、利用者から職員に持って帰るように勧め、共に収穫の喜びを分かち合える関係が築かれています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向が把握しにくい方は、生活暦から以前に何を得意としていたかなどを把握し、利用者ニーズに応じています。お花の先生をされていた方には、菜園に植えた花や職員の方の庭からの花を届け、自室に生け花をされ本人の意向に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、本人、家族、職員、ケアマネ、医師との連携のもとに作成しています。個別に月の目標、例えば「散歩を頑張る」「音読をする」「自室の掃除をする」を設定し、職員と関わり合いながら、目標に向けて張り合いのある生活に活かされています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月の定期的見直しと、現状に合わせた見直しが行われています。例えば、歩行練習をしていて転倒した利用者には、回復するまで待ち、臨機応変に対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じ法人で老人保健施設とデイサービスがあり、それぞれの行事に希望する利用者が参加をしています。訪問日には、津軽三味線のボランティアの方々が来られ、昔懐かしい音楽を、利用者は手拍子を打ちながら鑑賞していました。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の医師が、週に一回、訪問診療に来られています。入所前からのかかりつけ医がいる利用者は、家族が通院介助を行い、家族が無理な利用者には職員が付き添って支援しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在は、利用者の介護度が低く、さし迫った必要性は認識していない様です。看取りとはどういう事なのかを勉強会に取り入れていく方針です。	○	なるべく早い時点から、本人と家族の要望を把握し、希望があれば医師との連携のもと、書面で交わすことが望まれます。
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個室は、鍵がかけられる様にし、プライバシーに配慮をしています。個室に入る必要のある時は、ノック、声かけを励行しています。個人記録の保管は、事務室で利用者の方には見えない工夫をして保管されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間は利用者により生活習慣が違うため、朝食をずらして食べるなど、本人のペースを尊重しています。たまに寝不足の利用者には、夜勤者からの申し送り情報で共有し、支援に活かしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の状況に応じて、刻み、細刻み対応がなされています。食事の準備や後片付けは、利用者のできる範囲で職員と共に行い、家族からは「食事の後片付けができるようになった」という喜びの声があります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の回数は、週2回を基本にしています。毎日入りたい方、一日おきの方など利用者の意向に応じています。このホームは、自立支援を心がけ、全介助の利用者はいません。背中を洗うだけ、など必要以上の支援はしない方針が定着しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室担当者が決まっています。利用者にも月の目標を立てています。例えば「自分の部屋の掃除をする」利用者の家族から「モップでの床掃除が出来るようになった」という喜びの声があります。また、ハーモニカの得意な利用者には、ホーム内で発表の場を設け、喜びのある支援を心がけています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	犬を飼っていて、犬好きの利用者が天気の良い日は、毎日のように犬の散歩をしています。近くのスーパーには、希望者は、週に2回ぐらい出かけ、買い物を楽しんでいます。外食会は、2ヶ月に一度ですが、特に寿司コーナーに人気が集まっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は、夜間以外は施錠をしていません。センサーが取り付けられており、外部、内部からも出入りは分かる状況です。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	平屋建てで床面平坦で非常出口が3箇所あり、周囲は駐車場になっているため、すぐ屋外に出て避難できます。近隣に老人保健施設が有り、宿泊や医用面の協力が得られます。	○	日頃より、避難訓練を通して火事の怖ろしさや避難誘導など実地訓練を、地域住民の方々の参加・協力を得て定期的・継続的に行い、地域挙げての防災意識を高め、安心した地域づくりが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1ユニットのため、利用者の健康状態は、把握しやすい状況です。水分量は、食事どきの他に、10時のティータイム、3時のおやつの際にも確保出来る様に、利用者に声かけし、支援がなされています。	○	栄養摂取や水分量の記録様式を作成しています。特に記録は取っていませんが、作られた様式を利用して、健康管理に役立つ取り組みが望まれます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には5月・新緑若葉で埋め尽くされた紙の壁飾りが利用者を迎え、居間には職員がつくった手作りの日めくりカレンダーを利用者みんなと一緒にめくって一日が始まります。毎月毎に、ホーム内に豊かな季節感や生活感を醸だし利用者によりやすらぎをとの演出は見事です。廊下には思い出の写真や作品があり、訪れる家族等も楽しめます。ホーム内の空間も広くハード面は大変、優れています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居場所として、居室でのひとり暮らしでありながらも居心地の良さは大変重要な事です。ホームの畑で摘んできた自分の好きな5月の草花がそれぞれの部屋に飾ってありました。また、それぞれの居室は明るく清潔感溢れています。田園地帯にあるホームを取り巻く美しい自然に調和した居室環境です。		